

報 告

近畿病院図書室協議会第41回総会・第136回研修会 参加記

柴田真由美

2015年3月19日に京都で開催されました、第41回総会・第136回研修会に参加しました。4年ぶりの総会でしたが、駅で迷い、開始時間に遅れてしまいました。気落ちしておりましたが、第136回研修会では、5つの素晴らしい発表を聴くことができました。

1. 近畿病院図書室協議会に加入して

近病図協に入会されてからの1年間のことがとてもわかりやすくまとめられていました。フレッシュな勤勉さや熱意、丁寧さが伝わってきて、自分が病院図書室1年目で近病図協のお世話になったこと、勉強会や研修会に参加したことをいろいろと思い出しました。

2. オートシェイプを使ったイラスト作成

発表のスライドを拝見し、え！これをオートシェイプで作成したの？と、ただただ驚きました。早速私も作成してみました(図1)。イラスト



電子カルテは譲り合ひましょう。

図1 オートシェイプで作成したポスター

トを通じて、院内スタッフとコミュニケーションが取れる点が大変素晴らしく参考になりました。

3. はじめてのPubMed LinkOut 設定

PubMed LinkOut 設定での「躓いた点」を発表と言うことで、失敗談や、疑問点を聞くことができました。浅井さんはアイコン作成から設定まで自身で行い、大変さと喜び、疑問と解決を体験されています。努力している様子が伝わってきて、聞いている方も頑張ろうという気持ちになりました。

4. 共同リポジトリ開設への第一歩 ―機関リポジトリプロジェクトチームの活動―

1年にわたる活動の記録やアンケート調査報告を拝聴し、リポジトリへの理解が深まりました。当院でも病院紀要のILLは、依頼・提供共に多く、リポジトリへの期待がふくらみます。

5. 「選書ツアー」の取り組み

学生の笑顔が印象的でした。図書室利用者である学生が、自分自身や他の学生のために選書することはとても意義があることだと思いました。ツアー後に図書室に設置された新刊本コーナーや、思わず手に取ってみたいくなるポップも、わくわくするような気持ちになりました。

お昼には、東海地区でお会いする愛知の方々や近病図協でしか会えない京都の方々とランチをしました。仕事の話、観光の話に花が咲き、楽しい食事を満喫しました。このような交流も、研修会・総会参加ならではの思い出でした。

午後の総会記念講演「成人期の発達障害」では、ASD および ADHD について学びました。用語の説明が大変解りやすく、事例など興味深

く拝聴しました。講演後の質問も活発に行われていました。

第41回総会では、書記の任命を受けました。初めてのことで会場の前方に座ると大変緊張しました。総会は総会議案書に沿って進められ、今年度で協議会会長を退任される井出千束先生に花束が贈呈されました。役員改選もつつがな

く行われました。

この日は、本当に盛りだくさんの1日でした。多くのお話を聴くことができ、また、交流を深めることができました。翌日から、また平常勤務です。刺激を受けた脳をクールダウンさせようと、京都駅でお土産を物色し、京都タワーを写真に収め、新幹線で京都を後にしました。